

平成 29 年 6 月 30 日
県立高校校名検討懇話会
会長 池田 敏和

県立高校校名検討懇話会は、県立高校改革実施計画(期)に基づき学科改編及び再編・統合等の対象となる高校の名称案の選定等について検討するため、平成 28 年 4 月に設置された。

平成 28 年度は「県立高校改革における校名選定の考え方」を整理し、平成 29 年度に学科改編等を実施する高校 20 校のうち、6 校を校名変更の検討対象校として当該校の校名候補を選定し、平成 28 年 6 月に「県立高校改革実施計画(期)第一次報告書」として神奈川県教育委員会に報告した。

このたび、平成 30 年度に再編・統合により新たに開校する 1 校の校名候補を選定し、「県立高校改革実施計画(期)第二次報告書」として神奈川県教育委員会に報告するものである。

1 校名選定の考え方について

校名選定にあたっては、平成 28 年度にまとめた「県立高校改革における校名選定の考え方」に基づき、協議・検討した。

県立高校改革における校名選定の考え方

《校名選定の方針》

再編・統合等の対象となった学校の校名を選定する。
校名の検討時期は、再編・統合等の実施年度の前年度とする。
単独改編は原則として校名変更は行わない。ただし、学科表示等に齟齬ある場合は除く。
普通科専門コース及びフレキシブルスクールの解消については、校名変更は行わない。

《校名選定の基本的な視点》

学校の所在地や学校の種類がわかりやすいこと。
生徒や学校関係者、地域の方々に親しまれるものであること。
生徒がその学校で学ぶことに喜びと誇りを持てること。

《校名選定の考え方》

基本的視点を踏まえ、既存名称の使用も含め、概ね次の考え方により校名を選定することとする。

(1) 学校の所在地の市区町村名を使用する。

市区町村名を使用することを原則とする。
既に、市区町村名が使用されている学校が存在する場合は、市区町村名と地名・地域名(字名、所在する地区を表す東西南北などを含む)を使用する。
市区町村名、地域名等を使用することで既存の学校と類似する校名になる場合や、生徒が喜びと誇りを持てるような校名として適切な言葉がある場合は、学校の設置趣旨、期待等を表す言葉(ひらがなの使用など表記を工夫することを含む)などを使用する。

既存の学校を除き、広域の地域名は、既存校と区別しやすい、あるいは、全県のバランス上など広域名を使用しても他への影響が小さい場合などに限り、使用を検討する。

(2) 学校の種類を表す言葉を付加する。

普通科は、これまでも学科を表す言葉を付加しないことから、これに合わせて、今後も学科を表す言葉はつけない。(フレキシブルスクールも普通科の単位制であることから、学科名はつけないが、学校の趣旨等を表す言葉やひらがなの使用など表記を工夫する。)

総合学科は、「総合」を付加することで学科を表す。

なお、総合学科から他の学科への改編にあつては、原則として「総合」を削除する。

専門学科にあつては、専門教育の特徴を表す言葉で学科を表す。

この場合は、同一の学科は同一の言葉を使用する。ただし、複数の学科を併置する場合は、この限りでない。

(3) 上記のほか、次の点に留意する。

長さ、読みやすさ、語呂、略称(短縮した校名)、響きなどにも留意する。

既設校等の類似名称は避ける。

差別語、揶揄される意味の言葉、地元や生徒等が嫌う語彙は避ける。

2 対象校について

「県立高校改革における校名選定の考え方」に基づき、平成 30 年度に再編・統合により新たに開校する 1 校を対象校とした。

再編・統合対象校：三浦臨海高校、平塚農業高校初声分校(昼間定時制)

三浦臨海高校の敷地、施設を活用

平塚農業高校初声分校の敷地、施設をあわせて活用

再編・統合後の高校：単位制による全日制の課程 普通科・農業科

再編・統合前の高校			再編・統合後の高校	
校名(所在地)	課程	学科	課程	学科
三浦臨海高校 (三浦市初声町入江 274-2)	単位制による 全日制	普通科	単位制による 全日制	普通科 農業科 (都市農業科)
平塚農業高校 初声分校 (三浦市初声町和田 3023-1)	昼間定時制	農業科		

3 校名候補の選定

校名候補の選定にあつては、平成 29 年 2 月 2 日から 3 月 24 日にかけて対象校を通じて関係者(生徒、教職員、PTA、同窓会、地域住民等)から意見聴取した結果と、平成 29 年 4 月 24 日に対象校を訪問して関係者(生徒、教職員、PTA、地域住民)から意見聴取した結果も踏まえ、「地名・町名等に関連するもの」、

「両校の特徴を表すもの」、「再編・統合後の新校を象徴するもの」という

3 つの視点から検討し、次葉のとおり選定した。なお、選定にあつて、学校の所在地である市名を使った「三浦高校」という校名については、近年まで他校の校名として使用されていたことから校名候補とはしないこととした。

校名候補	選定理由
<p>み うらりょくよう 三浦緑洋</p>	<p>所在地名として、市名である「三浦」を冠する。 ((1) -)</p> <p>両校の特徴を表すものとして、平塚農業高校初声分校が持つ緑の大地のイメージを想起させる「緑」の文字と、三浦臨海高校が持つ海のイメージを想起させる「洋」の文字を用いて、読みやすさや響きの視点から「緑洋」とし、付する。((1) -)</p> <p>また、再編・統合後の新校を象徴するものという視点から、「緑洋」は、「緑」が若葉の伸びゆくイメージを、「洋」が海の広がりゆくイメージを想起させるので、新校の「未来への広がり」を期待させる。((1) -)</p> <p>新校は、普通科及び農業に関する学科(都市農業科)を併置することから、専門教育の特徴を表す言葉を付けた場合は、普通科が併置されていることが明示されず、学校の種類がわかりにくくなるおそれがあることから学科を表す言葉は付さない。((2) -)</p>
<p>み うらはっせ 三浦初声</p>	<p>所在地名として、市名である「三浦」を冠する。 ((1) -)</p> <p>地名・町名等に関連するものとして、両校の所在する地域名に共通する「初声」を付する。(「初声」は三浦臨海高校への再編・統合前の一方の校名ではあるが、「校名選定の考え方」に沿い地域名を使用した。)((1) -)</p> <p>新校は、普通科及び農業に関する学科(都市農業科)を併置することから、専門教育の特徴を表す言葉を付けた場合は、普通科が併置されていることが明示されず、学校の種類がわかりにくくなるおそれがあることから学科を表す言葉は付さない。((2) -)</p>
<p>み うら 三浦はまゆう</p>	<p>所在地名として、市名である「三浦」を冠する。 ((1) -)</p> <p>再編・統合後の新校を象徴するものとして、両校が所在する三浦市の市の花であり、白い花の色から新校としての新たなスタートを想起させる「はまゆう」を付する。((1) -)</p> <p>新校は、普通科及び農業に関する学科(都市農業科)を併置することから、専門教育の特徴を表す言葉を付けた場合は、普通科が併置されていることが明示されず、学校の種類がわかりにくくなるおそれがあることから学科を表す言葉は付さない。((2) -)</p>

(「選定理由」の () 内の数字は《校名選定の考え方》の番号)

《学校を通じた意見聴取結果：三浦臨海高校》

【生徒】(意見聴取の方法：生徒会役員からの聞き取り)

校名 (よみがな)	由来・理由・意見
みうらりんかい 三浦臨海	現在のままだが良い。
みうらしーさいど 三浦シーサイド	海の近くのイメージだから。

【教職員】(意見聴取の方法：職員への説明に対する意見)

校名 (よみがな)	由来・理由・意見
みうらりんかい 三浦臨海	現在の校名が浸透し、親しまれている。
はっせ 初声	字名および平成16年度統合前の呼称にちなむ。
みうらしあかぜ 三浦潮風	三浦の名を残したい。海のイメージを生かしたい。

【PTA】(意見聴取の方法：PTA運営委員会で意見集約)

校名 (よみがな)	由来・理由・意見
みうらりんかい 三浦臨海	臨海の名は残してほしい。
みさきはっせ 三崎初声	平成16年度統合前の校名にちなむ。

【同窓会】(意見聴取の方法：同窓会長来校時に聞き取り)

校名 (よみがな)	由来・理由・意見
みうらりんかい 三浦臨海	母校の名を残してほしい。

【地域住民(自治会など)】(意見聴取の方法：学校HPによる公募)

校名 (よみがな)	由来・理由・意見
みうらしあかぜ 三浦潮風	海に近い立地と、近隣の潮風アリーナにちなむ。
みうらゆうなぎ 三浦夕凧	学校の西側に見える夕景がきれいだから。
みうらすいしょうかん 三浦翠松館	(記載なし。)
みうらそうごうふるんていあ 三浦総合フロンティア	新校としてのイメージに近い。
みうらはっせ 三浦初声	字名にちなむ。

《学校訪問による意見聴取結果：三浦臨海高校》

生徒
<ul style="list-style-type: none">・「三浦」と「海」という単語が校名に入ってくれと嬉しい。・学校のイメージは、「青、海、船」。・校名に「農」が入ると、普通科もあるということが分かりにくい。・「初声」という地名に自分たちはあまりこだわらないが、地元の人には、「三浦臨海高校」というよりは、元の「初声高校」で通じることの方が多い。・友人たちは皆、自分の高校を「臨海」と呼んでいる。・「海」を校名に入れてほしいが、カタカナの「マリン」や「シー」でも良い。
教職員
<ul style="list-style-type: none">・「三浦」を冠した方が良い。・現在の校名「三浦臨海」を残してほしい。まだ校名が変わってそれほど経過しておらず、無理に変える必要はないと思う。この校名を大切に使うという意識があって良いと思う。・「三浦臨海」では、校名が長い。四文字以上にならない方が良いと思う。・「三浦初声」では、再編・統合前の初声高校の「初声」が校名に入っているので三崎高校の関係者からすれば「初声」だけ復活するのか、という思いになる。・三浦臨海高校は「太陽」と「海」のイメージがあり、地元では海と深いつながりのある学校という印象がある。・新校の校名については、4つのパターンが考えられる。<ul style="list-style-type: none">「三浦臨海」…現校名を変えない。「初声」…近所に初声小学校、初声中学校、があるので自然なイメージがある。しかし、再編・統合前の校名であること、三浦半島以外からは場所が分かりにくいことが課題となる。「三崎」…再編・統合前の校名であるが、近隣の中学校の再編・統合では、非活用校の校名を継承する事例があった。<ul style="list-style-type: none">二つの学校の名前を合わせて「三浦初声」など、全く新しい学校名とする。・校名に「農業」という言葉が入ることには抵抗がある。・両校の特色から、「青」と「緑」のイメージがある。<ul style="list-style-type: none">新校の制服は、紺に緑色の糸を織り込んだものとした。・校名に対する生徒の思いは「海」だと強く感じた。・「三浦高校」は、昔の「(私立)三浦高校」と(校名が)重なる。<ul style="list-style-type: none">「(私立)三浦高校」は、平成21年に「三浦学苑高校」と変更。

P T A	
<ul style="list-style-type: none"> ・「三浦」や「三崎」など、学校の所在地、場所が分かりやすい校名が良いと思う。 ・可能であれば「三浦臨海」を残すことも検討してほしい。 ・前回改革では、「初声」も「三崎」もどちらも残さなかったが、「三浦初声」となると「初声」だけが復活することになり違和感がある。 ・農業科が学年に1クラスしかないので、あまり「農」を出しすぎてもいかがかと思う。 ・「三浦臨海」は、あり得る。 ・「三浦」と「臨海」どちらかを校名に残すということであれば、三浦市で唯一の県立高校なので「三浦」を残したい。 ・「三浦」も「臨海」も色で表すならば「ブルー」のイメージである。 	

《学校を通じた意見聴取結果：平塚農業高校初声分校》

【生徒】（意見聴取の方法：アンケート）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
みうらはっせ 三浦初声	両校の校名の一部が残せる。三浦市初声町にある高校だから。（多数）
はっせみうら 初声三浦	三浦市初声町の高校。
みうらりょうそう 三浦涼爽	三浦の海の涼しい風の爽やかさ。

【教職員】（意見聴取の方法：アンケート）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
みうらはっせ 三浦初声	三浦市初声町にある高校だから。（多数）
はっせこうふう 初声光風	地名の初声と「雨後に吹く爽やかな風、日光を浴びて草木が育つ」。
みうらけいじつ 三浦恵実	三浦半島の「恵」の力を学校生活で「実」につなげる。
みうらはっせふるんていあ 三浦初声フロンティア	最先端の実践的教育・専門教育を行う学校。
みうらりよくよう 三浦緑葉	三浦の豊かな自然。
みうらすいりよく 三浦翠緑	三浦の豊かな緑。

その他、校名検討に関する意見
「三浦臨海」以外で検討されたい。

【PTA】(意見聴取の方法：アンケート)

校名 (よみがな)	由来・理由・意見
みうらはっせ 三浦初声	三浦市初声町にある高校だから。(多数) 両校の校名の一部を残せる。
みうらかいふう 三浦海風	三浦市の高校で海風がいつも吹いていてさわやか。

【同窓会】(意見聴取の方法：アンケート)

校名 (よみがな)	由来・理由・意見
みうらぎょうせい 三浦暁晴	暁が晴れる。
みうらちようせい 三浦澄清	澄んで清いこと。
みうらぎょうこう 三浦暁紅	明け方に光が東の空を紅く染めること。
みうらせいき 三浦清暉	清らかな日の光。
みうらたちばな 三浦橘	橘は柑橘を示し、常緑樹なので年間を通して葉が落ちない。

【地域住民(自治会など)】(意見聴取の方法：自治会役員へのアンケート)

校名 (よみがな)	由来・理由・意見
みうらはっせ 三浦初声	三浦市初声町にある高校だから。
その他、校名検討に関する意見 地域の名まえを校名にしてほしい。	

《学校訪問による意見聴取結果：平塚農業高校初声分校》

生徒
<ul style="list-style-type: none"> ・校名に「農」の字が入らなくても、農業科があるということをイメージできれば良い。校名よりも教育内容の方が大切だと思う。 ・学校の色のイメージは「緑」。 ・「三浦農臨」。 ・「三浦臨海」。(無理に変える必要はない、名前よりも中身が大切である)

教職員	
<ul style="list-style-type: none"> ・新しい学校になったことが分かるよう、新しい校名が望ましいという気持ちはある。 ・「三浦臨海」以外の新しい校名が良い。 ・生徒からは、「YRP 野比」のような斬新なものが良いという声と、一方で、落ちついた感じのものが良いという声があった。 ・「臨海」だと「農」（農業科の存在）が打ち消されるイメージがある。 ・学校の所在地を表す地名を入れてほしい。 ・学校の所在地が分かる校名にしてほしい。 ・「三浦」は残してほしい。 ・「臨海」は、かつて近隣の施設で使われていたこともあり、地元に着している。 ・前回の再編・統合では「三崎」も「初声」も残さない、という方法を取った。この地域での統合のいきさつを考慮してほしい。 ・三浦臨海高校のイメージは「ブルー」「マリン」、初声分校のイメージは「緑」である。 	
地域住民	
<ul style="list-style-type: none"> ・三浦も初声も古くからある地名なので、地域住民は「初声」に強い思い入れがある。 ・初声小学校を借りて分校がスタートしたことや、校地を地元の住民から寄付していただいたことなど、学校の歴史のことも考えて検討してほしい。 ・地元の意見としては「初声高校」と「臨海高校」という意見が多かった。「初声高校」については、「校名検討の考え方」に地名を冠することが基本的な方針であること、三浦臨海高校が旧初声高校の敷地・施設を活用していることが理由として挙げられていた。 ・「三浦」と「初声」はぜひ残してほしいと多くの地域住民は思っている。 ・学校の所在地、場所が分かる方が良い。 	

4 協議経過

開催日		協議内容
平成 29 年 4 月 24 日	第 4 回	<ul style="list-style-type: none"> ・県立高校改革における校名選定の考え方について ・学校訪問による意見聴取 (三浦臨海高校/平塚農業高校初声分校)
平成 29 年 5 月 25 日	第 5 回	<ul style="list-style-type: none"> ・対象校の校名について ・今後のスケジュールについて
平成 29 年 6 月 26 日	第 6 回	<ul style="list-style-type: none"> ・対象校の校名について ・県立高校校名検討懇話会の第二次報告書について ・今後のスケジュールについて

県立高校校名検討懇話会の設置及び運営に関する要綱

(設置目的)

第1条 県立高校改革に伴う再編・統合等の対象となる高校の校名に関する有識者等の意見を聴取し、校名検討に反映させるため、県立高校校名検討懇話会(以下「懇話会」という。)を設置する。

(意見を求める事項)

第2条 懇話会は、次の事項について、専門的見地等に基づく意見を聴取する。

- (1) 県立高校改革に伴う再編・統合等の対象となる高校の校名に関すること。
- (2) その他校名に関し教育長が必要と認める事項。

(設置期間)

第3条 懇話会の設置期間は、平成32年3月31日までとする。

(構成員)

第4条 懇話会は、教育行政や学校教育に関する学識経験を有する者等や一般県民(公募構成員を含む)から選定した者5名をもって構成する。

- 2 懇話会の構成員(以下「構成員」という。)の選任期間は2年間とする。ただし、最初の期間は、懇話会設置の日から平成30年3月31日までとする。

(会長)

第5条 懇話会に会長1人を置く。

- 2 会長は、構成員の互選により定める。
- 3 会長は、懇話会における意見を取りまとめる。
- 4 会長が不在のときは、あらかじめ会長が指名する者が代理する。

(会議の開催)

第6条 懇話会は、会長が必要に応じて開催する。

- 2 会長は、必要があると認めるときは、懇話会に構成員以外の者を出席させることができる。

(庶務)

第7条 懇話会の庶務は、教育局総務室が行う。

(雑則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、懇話会の運営等に関し、必要な事項は別に定める。

附 則

この要綱は、平成28年3月18日から施行する。

県立高校校名検討懇話会構成員名簿

氏 名		職 名 等
会 長	池田 敏和	横浜国立大学 教育学部 教授
会長代理	増淵 広美	県立市ヶ尾高等学校 校長
構成員	有園 優子	公募構成員
	大野 光雄	ニコ株式会社 代表
	中野 真衣子	神奈川県立高等学校 PTA 連合会 副会長